

道内では「Googleフォーム」を活用してアンケート等を実施する学校が増えてきていますが、安全安心に活用するためには設定を確認することが大切です。本号では、リスクを回避する操作と校務DX支援サイトを活用した解決策を紹介します。

Googleフォームを正しく使おう！

Googleフォームの安全かつ適切な活用に向けて、道教委では9月26日（木）及び30日（月）、道立学校の教職員を対象に研修を実施しました。

研修では、トラブルにつながる具体的な事例を説明するとともに、操作体験を通して、「何をしてはいけないのか」「どのように使用すれば安全なのか」などについて理解を深めていただきました。

下記のリンク先に研修動画（約30分）を保存していますので、校内研修等で活用するなど、全教職員で情報共有していただきますようお願いいたします。

【動画URL】 <https://youtu.be/bW0bQ6YuZbU>



【研修の様子】

NG操作 具体例

- ①画面上部の作成編集者用URLを回答者に伝えてはならない
- ②（設定⇒）「結果の概要を表示する」をオンにしてはならない。（オフのままにする）
- ③（⋮）設定⇒「共同編集者を追加」⇒「一般的なアクセス」を、「北海道情報通信ネットワーク」と「リンクを知っている全員」にしてはならない。

① フォーム作成時の作成編集者用URLを使用しない

Googleフォームを作成している際に、画面上部にあるURLは作成編集者用のURLのため、このURLが回答者に伝わると、回答者が他の回答結果を見ることができてしまいます。

作成編集者用URLには、「edit」という文字が入ります
(例) <https://docs.google.com/forms/d/.....edit>

【誤って作成編集者用URLを公開してしまった場合】
回答者から作成者のメールアドレス等に、編集権限のリクエストメールがくるので、絶対に許可（完了）しないでください。

（編集権限のリクエスト画面） （編集者の追加画面）

※ リクエスト届く→回答者に誤ったURLを伝えず
※ 「共有の管理」ボタンは絶対に押さない

② 「結果の概要を表示する」の設定を必ず確認

「設定」→「表示設定」→「結果の概要を表示する」を「オフ」にしていない場合、不特定多数の人が、回答結果を見ることができるようになってしまいます。

結果の概要を表示する
結果の概要を回答者と共有できます。重要情報

（注意）ここを絶対にオンにしない。（オフのままにする）

③ 「共同編集者を追加」の設定を必ず確認

通常、「一般的なアクセス」は「制限付き」になっています。これを作成編集者が「北海道情報通信ネットワーク」や「リンクを知っている全員」に設定した場合、不特定多数の人が作成編集画面を操作できるようになってしまいます。

「制限付き」のまま「編集者の追加」から対象教員を招待することになります。

※校務DX支援サイトトップページに掲載

解決策

校務DX支援サイト「フォーム生成ツール」の活用

GIGAワールド通信第42号で紹介している「校務DX支援サイト」（※令和6年8月9日付け事務連絡）に掲載している「フォーム生成ツール」を使用すると、ミスにつながる設定が不要で、簡単にGoogleフォームを利用することができますので、御活用ください。



校務DX支援サイト

今号のコラム

リーディングDXスクール事業第2回オープンセミナー開催



【パネルディスカッションの様子】

10月1日（火）、事業指定校の協力の下、第2回オープンセミナーを開催しました。

前半の実践発表では、旭川市立西御料地小学校・緑が丘中学校、北海道帯広柏葉高等学校の教諭から、ICTを活用した授業改善の取組について発表いただきました。

資料① <https://drive.google.com/drive/folders/1gFPND3bYIM8Be3x1KX3EsMkQlv8ASAs?usp=drive-link>

後半は、学校DX戦略アドバイザーの新保 元康 氏をファシリテーターに迎え、「組織的な取組の推進」をテーマに、実践発表校の教頭及び教諭とパネルディスカッションを行いました。パネラーからは「先生方にICT活用のメリット実感してもらうことで次の取組の理解が得られ、結果として組織での取組になる」「管理職は先生方と積極的に情報共有するなど、日常的なコミュニケーションが大切」など、ICT活用を進めていく中で、どのように取り組んできたかを紹介いただき、最後に、新保アドバイザーがまとめを行いました。

【新保アドバイザーのまとめ】

- ・小さな情報共有を大切にすること
- ・校務で慣れて授業で活用すること
- ・子どもに委ねる授業に挑戦してみること

「ICT活用全道協議会」のご案内

12月18日（水）午後にICT活用全道協議会を開催します。標記協議会では、学校DX戦略アドバイザーである信州大学准教授 佐藤 和紀 氏による「（仮）『個別最適な学び』と『協働的な学び』の実現に向けた端末活用のポイント」について御講演いただくとともに、ICTを活用した校務DXや授業改善の推進について自校の取組を振り返り、更なるICT活用に向けた協議等を行いますので、ぜひ御参加ください。

また、同日の午前には、リーディングDXスクール事業指定校である北海道帯広柏葉高等学校が研究授業の公開を行います。今回は帯広柏葉高校と管内の高校の先生がチーム結成し、ICTの活用や指導案検討を重ねた成果を授業で公開します。詳細が決まりましたら御案内しますので、ぜひ御参観ください。



講演
信州大学准教授 佐藤 和紀 氏



ICT活用ポータルサイト



チャットボット案内が
利用できます！

ICT活用に向けた 校内研修プラン



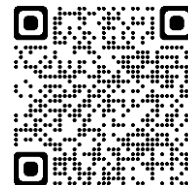
ICTに関する校内研修を企画・
実施する際はこちらへ！

「みんなで研修」プログラム



短時間でICT活用を学べます！

校務DX化の促進に係る 関連情報ページ



ICTを活用した校務の
効率化についてはこちら！

北海道教育庁ICT教育推進局ICT教育推進課

URL <https://www.dokyoi.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ict/index.html>

